

- 1 住みよいまちを力を合わせつくしましょう
- 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
- 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
- 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
- 1 明るいくらしと福祉のまちをきざしましょう



第9回向日市観光写真コンテスト

受賞作品が決まりました

豊かな表情で語りかける向日市の素顔を表現した新鮮な写真作品を募集した「第9回向日市観光写真コンテスト」の審査会が12月21日に行われ、応募総数75点の中から大賞(向日市長賞)など受賞作品13点が選ばれました。

受賞作品は、市の観光案内など向日市のPRに活用されます。

受賞作品を展示します

期間/開催中(2月3日(金)まで)
場所/市民会館市民ギャラリー

大賞 向日市長賞

「竹林の小径」 本多啓司さん(寺戸町)



推薦 向日市観光協会賞

「白い朝」 平野耕司さん(寺戸町)



推薦 向日市商工会賞

「安らぎの処」 深井賢二さん(宇治市)



特選

- 向日市民憲章推進協議会長賞 「今日も元気で」 阿部太郎さん(寺戸町)
- 竹小町賞 「雪景」 埴田緋紗子さん(京都市)
- 社団法人京都府観光連盟賞 「雪の竹林」 日比靖雄さん(長岡京市)
- 向日市ふるさと産品推進協議会長賞 「春色」 梅木賢一さん(森本町)
- 京都新聞社賞 「竹」 尾林隆さん(上植野町)
- 京都中央農業協同組合向日支店賞 「秋たけなわ」 高橋且見さん(長岡京市)
- 富士フィルムイメージング賞 「主池の春」 小巻勝さん(京都市)

■入選■ 中山晃一さん(寺戸町) / 日比靖雄さん(長岡京市) / 仲山弘さん(上植野町)

※受賞作品は市ホームページまたは、向日市観光協会ホームページ(<http://www.muko-kankou.jp/>)でもご覧いただけます。

お問い合わせ

産業振興課商工観光係(内線239・241)



▲向日市観光協会マスコット 竹小町(たけこまち)

防災とボランティア週間(1月15日~21日) 防災とボランティアの日(1月17日)

平成7年1月に発生した「阪神淡路大震災」で、災害時のボランティア活動の重要性が認識され、1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までを「防災とボランティア週間」と定めました。

この期間中、関係機関で災害時のボランティア活動や自主的な防災活動の普及を図る取組が行われています。

☎環境政策課市民安全係(内線249)

防災ロビー展



- 期間/1月16日(月)~20日(金)
- 場所/市役所本館1階ロビー

●展示物/震災写真パネル、災害非常用食料、保存水、防災グッズ、京都府西南部活断層地図など

被災地のボランティア活動の際次のようなことを心掛けましょう



■自分の体調を整える

現地入りする前の日は、ゆっくり休み、万全の体調で臨みましょう。

■自給自足の装備をしておく

活動しやすい安全な服装や靴で出かけましょう。また、自給自足の装備が必要です。携帯ラジオのほか、雨具やセーターなど悪天候や寒さ対策も忘れずに。食料や水も、備えていきましょう。

■活動する場所を決める

行く前に、現地のボランティア窓口などに問い合わせ、現地の状況やボランティアのニーズなどを確認し、自分が活動する場所を決めましょう。

■被災者の気持ちを最優先に考えて行動する

被災地にいることを十分認識し、被災者の心を傷つけたりすることがないように、言動にも注意を。